

令和  
7年度

# 事業所における自己評価総括表(公表)

COMPASS.Clover



○事業所名	COMPASS.Clover		
○保護者評価実施期間	R7年 9月 10日		～ R7年 9月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○従業者評価実施期間	R7年 9月 5日		～ R7年 9月 16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 10月 9日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	COMPASSでは全国に事業を展開しており、系列事業所との連携があります。 各担当者が会議や勉強会をおこない、事例検討なども含めて多様な視点からの意見を取り入れ、計画書や日々の療育に反映しております。	各担当ごとに事業部内で担当グループが形成されており、担当グループ主体での会議や勉強会が実施されています。 複数の地域に事業所があるため、不明な点などは指定権者に確認し、法令に沿った事業所運営をおこなっております。	児童が楽しみながら通ってくれる事業所、成長を感じられる事業所、安心して通ってもらえる事業所となるよう常に考えながら、決められたルールを遵守し取り組んでまいります。
2	児童発達支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援をおこなっております。	児童発達支援計画も職員間で共有されており、計画に沿った支援をおこなっております。	支援内容を具体的に把握し、児童の特性や個性への理解を深めていき、より良い支援に繋げてまいります。
3	児童や保護者様からの申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、そのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応しております。	ご相談やお申し入れに対しては、ご家族様の状況に応じて、臨機応変に対応させていただいております。	ご相談やお申し入れに対しては、そのような場があることについて周知・説明をおこない、相談や申し入れがあった際には迅速かつ丁寧に対応してまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	生活空間は児童にわかりやすく構造化されており、事業所の設備等についても、障害の特性に応じたバリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切におこなわれております。	生活空間は児童にわかりやすく構造化されており、障がい者の特性に応じたバリアフリーや情報伝達への配慮が適切におこなわれております。	建物は自由遊び・療育の空間に仕切りを使用しており児童にはわかりやすい構造になっております。
2	こどもの活動スペースが十分に確保できております。	利用人数や活動内容によっては窮屈に感じることがあると思います。	限られたスペースの中で、時間を区切りながら活動することにより安全面に配慮することができます。
3	職員の資質向上のため、社内外での研修機会を確保しております。	職員の資質向上のため、社内外での研修機会を確保しております。	利用児童に配慮し、全職員が参加しての会議は難しい状況ですが、利用人数等を鑑みながら、研修機会を増やしていけるよう努めてまいります。



公表日：令和 8年 3月 17日